

第 65 回 歴史探訪の会「近江大津京」について

実施日 2018年 11月 21日(水曜)

場 所 滋賀県大津市

案内人 内海春樹

当日は晩秋にふさわしい紅葉を愛でながら古都大津の街を散策しました。参加者は 19 名。

大津市は、滋賀県の南端に位置する市で、県庁所在地として人口は約 34 万人で中核市に指定されています。天智天皇が近江大津宮に遷都して以来、1350 年以上の歴史を有する古都で、戦争による被災や自然災害が少なかったことにより、世界文化遺産の延暦寺、三井寺、石山寺、近江神宮などの古社寺をはじめ、史跡、名勝が多くあります。昔から琵琶湖を利用して東海地方や北陸との人と物資の流通で栄えた町です。

最初に大津宮があったとされる錦織町の発掘跡を見学しました。

1. 近江大津宮

飛鳥時代に天智天皇が近江国に営んだ都です。667年に飛鳥から近江に遷都した天智天皇はこの宮で正式に即位し、国民の戸籍や税の制度を定めた「近江令」などを制定しました。

天智天皇崩御後に朝廷の首班となった息子の天智天皇(弘文天皇)は672年の壬申の乱で叔父の大海人皇子に敗れたため、5年余りで廃都となりました。

・なぜ天智天皇は飛鳥から近江に遷都したのでしょうか。

660年、倭国(後の日本)と同盟国だった朝鮮の百済が新羅と唐に攻められて亡びました。当時の倭国の皇太子である中大兄皇子(後の天智天皇)は、百済復興を強力に支援しようと朝鮮半島へ出兵したが、663年の白村江の戦いにおいて唐・新羅連合軍に惨敗し、百済復興は失敗に終わった。百済復興戦争の敗北は中大兄皇子政権にとって大変な失策であり、国外に大きな脅威を抱えることとなった。その為、北九州から瀬戸内海沿岸にかけて多数の朝鮮式山城(例えば筑前の大野城、高安城など)や連絡施設を築くとともに、最前線の大宰府には水城という防衛施設を設置して防備を固めた。

この様な状況下で667年3月19日、中大兄皇子は都を近江大津へ移した。

その翌年668年、中大兄皇子は即位して天智天皇となった。この遷都の理由として国外の脅威に対抗しうる政治体制を新たに構築する為、飛鳥から遠く、陸上・湖上に東山道や北陸道の諸国へ向かう交通路が通じており、西方へも交通の便が良い大津を選んだとする説が有力である。

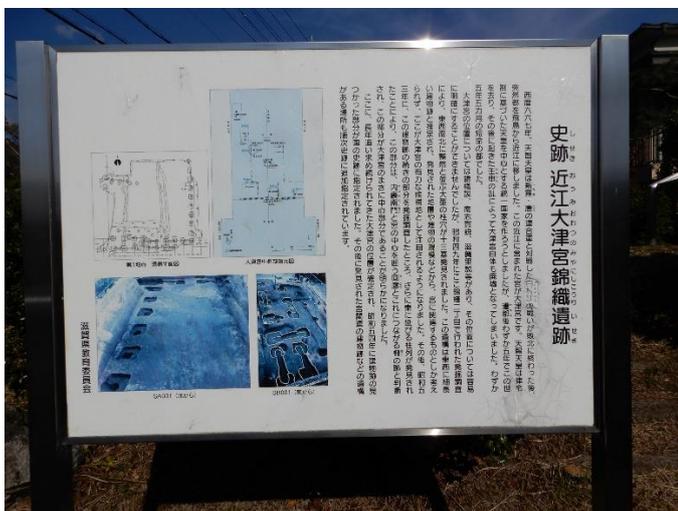
671年天智天皇が崩御すると、子の天智天皇が近江朝廷の首班となった。が、生前の天智天皇から皇太子に指名されていた弟の大海人皇子は近江朝廷に反旗を翻し、翌年672年6月に吉野から東国へ脱出。美濃国を拠点に軍兵を徴発して近江へ進軍し、同年7月、近江朝廷軍を破って天智天皇皇子を自殺に追い込んだ。これが「壬申の乱」である。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位して飛鳥浄御原宮を造営したため、大津宮は僅か5年で廃都となった。この間を近江朝と呼ぶ。

大津京は 5 年で廃都となったため、永らくその場所が判りませんでした。昭和49年、錦織2丁目の住宅地

の一角で行われた発掘調査により、大規模な掘立柱建物跡の一部が発見されました。続いて昭和53年2月にこの建物跡に連続する柱穴が発掘され、柱穴からは670年頃の時期を示す須恵器・土師器片が出土したため、錦織遺跡が大津宮の遺構と断定されるに至った。その後十数地点で調査が行われ、大津宮の建物の位置もほぼ確定して、その中枢部の構造も復原されるまでに研究は進展しています。昭和54年7月に国史跡に指定されました。しかし発掘跡は住宅街に点在しているため、全体像は想像するしかない。大津宮跡から北へ5分ほど歩くと近江神宮の大きな森が見えてきます。



大津京復元模型



近江大津宮錦織遺跡跡の説明板と遺蹟の一部(周辺は住宅地です)

2. 近江神宮

祭神:天智天皇、神徳:時の祖神

立派な楼門をくぐると正面に拝殿とその奥には本殿が鎮座しています。

神官から近江神宮について説明を受けました。天智天皇が667年に当地に近江大津宮を営み、飛鳥から遷都した由緒に因み、紀元2600年の佳節にあたる1940年(昭和15年)の11月7日、同天皇を祭神として創祀された。社殿は「近江造」と呼ばれる独特のもので、国の登録有形文化財に登録されている。

終戦直後1945年(昭和20年)12月15日に、戦後復興を祭神(天智天皇)に祈願した昭和天皇の勅旨により、同神宮は勅祭社に治定された。

例祭は大津宮に遷都された記念日の4月20日に勅使が参向して行われる。このほか主な祭典として6月10日、時の記念日の漏刻祭、11月7日の御鎮座記念祭、1月前半の日曜日のかるた祭(かるた開きの儀)などが行われる。天智天皇が日本で初めて水時計(漏刻)を設置した歴史から境内には各地の時計業者が寄進した日時計や漏刻などが設けてあり、時計館宝物館と近江時計眼鏡宝飾専門学校が境内に併設されている。

「小倉百人一首」の第1首目の歌を詠んだ天智天皇にちなみ
競技かるたのチャンピオンを決める名人位・クイーン位決定戦
が毎年1月に行われている。競技かるたに取材した漫画・アニメ
「ちはやふる」の舞台ともなった。



「小倉百人一首」の第1首目の歌を詠んだ天智天皇

(参考)・神社の事、正式参拝の手順を学ぶ

- 1)一の鳥居で拝礼、参道の端を進む
- 2)手水舎(てみずや)で身を清める
- 3)お祓い
- 4)神職祝詞奉上
- 5)巫女さん 神楽の舞
- 6)代表による玉串、拝礼

・日本全国の神社の数 88,000社で、宮司の数は11,000人 (寺の数は 77,000)
神社で多いのは①稲荷社 20千社、②八幡社 15千社、③天満社 10千社 ④春日社 7千社
神社には神宮とか、大社とかの名称があるが、その違いは？

神宮： 天皇家(伊勢、橿原、平安、近江 など)

大社： 天皇の側近、大臣(住吉、出雲、春日 など)

神社： 自然や村の鎮守 (浅間、大神、など)



近江神宮拝殿



手水の正しい使い方の説明を受ける



近江神宮の神官よりの説明を聞く

近江神宮境内では、「時の祖神」として水時計や火時計、日時計などの模型がありちょうど12時を表していました。また、“七五三参り”の家族ずれが多くみられ華やかな雰囲気でした。



日時計の模型



水時計(漏刻)の模型

3. 皇子山1号古墳

皇子山1号墳は、住宅が密集した丘陵を登ったところ
にありました。墳丘の長い階段をがんばって最上部に
上がると、そこからは琵琶湖が眼下に。そして大津の
町並みや遠くには近江富士(三上山)の美しい姿も。

1号墳の形状は数少ない前方後方墳。(古墳時代前期、
4世紀後半頃の築造)墳丘主軸を南北方向とし、前方部
を南方に向ける。墳丘表面では葺石が認められる。墳形
は東側(琵琶湖側)が極端に開き、葺石も東側面の方が
西側面より丁寧に葺かれることから、湖からの仰望を意識
した造りとされる。

主体部の埋葬施設は、後方部に4基、前方部に1基(粘土



柳か)が認められ5人が埋葬されたと考えられ、被葬者は明らかでないが、和邇氏との関連を指摘する説がある。
1号墳の規模 墳丘長:約 60M 後方部幅:約 35M 前方部幅:約 28M



皇子山1号古墳からみた大津市街と琵琶湖、正面の山は近江富士(三上山)

4. 弘文天皇(大友皇子)陵

京阪石山線の電車で“大津市役所前”下車、徒歩約10分でご寮に到着。

天皇陵としては、小規模だが清楚な佇まいで各自手を合わせる。大友皇子は天智天皇を父とし伊賀采女宅子娘を母として生まれた。

671年わが国最初の太政大臣に任ぜられた。同年、天智天皇が崩御するや、左大臣蘇我臣赤兄、右大臣中臣連金らとともに近江朝の政務をとった。文武両道にすぐれ、邸宅に百濟から亡命した学者を招いて賓客としたといい、奈良時代の漢詩集『懷風藻』に漢詩二首が収められている。翌年の壬申の乱で父の弟の大海人皇子(後の天武天皇)と皇位継承を争い、敗れ、自ら縊死した。大友皇子は、天皇としての即位を認められなかったが、明治3年に至りようやく弘文天皇と追号された。

大友皇子の皇妃は大海人皇子と額田王の間に生まれた十市皇女である。(と言うことは、大友皇子にとって大海人皇子は叔父であり、岳父でもある)。このように、古代の日本では王位をめぐる叔父対甥、叔母対甥、兄と弟など骨肉の争いが絶えなかった。古代最大の内戦と言われる「壬申の乱」の結果、大海人皇子(後の天武天皇)が勝利したことで我が国の在り方が大きく変化した。

- ・それまでの国名“倭国(わ)”を“日本国”に
- ・大王(おおきみ)を天皇に
- ・初めての通貨「富本銭」の発行

・国の歴史書「古事記」「日本書紀」の編纂

・唐に負けない都「藤原京」の建設

これらの事柄はその後1300年後の現在にまで続くものであります。



弘文天皇陵前で



大友皇子、天武天皇について説明を聞く

秋晴れの下、全員最後まで元気に歩きロマンを感じながら今回の例会を終えました。



近江神宮にて

写真は岸場さんが撮影されたものを使用させて頂きました。